

保護者等(児童発達支援)からの事業所評価の集計結果(公表)別紙4 厚生労働省

公表：令和3年3月27日

事業所名:児童発達支援 のため・ぺっぴり単位1・単位2・単位3

回収率 86%

3/2 現在

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応(2020) G:改善目標、工夫している点など A:ご意見ご質問への回答
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	98%			2%	<ul style="list-style-type: none"> ・とても広い空間で療育が出来る。 ・広いスペースで様々な活動が行えるので思いっきり体を動かすことが出来ていつも楽しそうです 	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	95%	2%		3%		
	③	生活空間は、i 本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	85%	2%		13%	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ見学に行けていないのでHPに写真が載っていると嬉しいです。 ・まだ数回しか行っていないのでわからない。 	A:HPには施設の写真を掲載しています。今年度はコロナの関係で見学を控えていただいていたいました。感染症の状況を見て今後の見学等については判断して参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	93%			7%	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ見学に行けていないのでHPに写真が載っていると嬉しいです。 ・とても清潔感があり、のびのび過ごしている。 	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	92%			8%	<ul style="list-style-type: none"> ・入ったばかりでまだもらっていない。 ・子供が苦手な部分を的確に捉え、それに沿って計画がされている。 	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」	90%	2%		8%		A:ガイドラインは札幌市のHPより閲覧できます。 ↓ガイドライン参照先 http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/jiritsushien/documents

	で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						/jidouhattatsushienguideline.pdf
⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	92%	0%	0%	8%		
⑧	活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか	90%	3%	0%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツデーや日々のプログラムでも変化のある取り組みをなされている。 ・月2回なのでプログラムは固定しがちである。 	A:プログラムは週替わりで提供し連絡帳やメールに記載しお知らせしています。児童の年齢に応じてプログラムの内容も変え固定化しないよう工夫しています。
⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	32%	10%	8%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が利用していない為。 	A:現在、通所している児童が幼稚園や保育園に通園、または通園予定であるため交流する機会は設けていません。
⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	2%	0%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・メールでの報告がしっかりされている。 	
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	97%	0%	2%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・とても丁寧に説明されました。 ・短所と感じていた部分に長所の要素もあると聞いたことで、家庭での対応が変わったように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して取り組んでいきます。
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング iv 等）が行われているか	77%	3%	3%	17%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの為来訪は控えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に1回開催している講師を招いての「あつまる会」は「家族支援プログラム」の一環として開催。発達についての勉強会。保護者の悩みや子育てについて話し合う座談会。参加者による保護者間での交流（保護者会）も行っている。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	88%	8%	2%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも相談に乗って下さりアドバイスを下さり助けられています。 	A:ご心配事があれば都度対応しますのでお気軽にご相談ください。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	88%	7%	2%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点、課題を共有でき安心できる。 ・コロナの為。 ・入学前なので小学校の情報を聞けてとても参考になった。 	A:なにかあればいつでもご相談に乗ります。

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	88%	2%	5%	5%	・今年度はプライベートでの交流が難しかったのであつまる会はとてもありがたかった。	G:次年度も毎月開催を予定しています。新年度はお父さん向けの勉強会も予定しています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	97%	3%	0%	0%	・相談もしやすく困り事も快く対応して頂き有難いです。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	95%	5%	0%	0%	・伝達のしやすさがありとても良い。 ・ノートが使いにくい。印字されている箇所が多いので書きにくい。「本日の様子」についてはそんなに書かなくていいので普通のノートに戻していただくかアプリを使ってほしいです。 ・送迎の際その日の気づきや成長などを伝えていただくことがあり(褒める材料をもらえて)ありがたいです。 ・行きたくないと子供が言ったことを伝えたらすぐに対応し現状を説明してもらえた。	A:ご要望がある保護者様に対しては個別に対応させて頂きます。 A:ノートは指定のノートを今後も活用しますが、内容についてはスタッフ一同お子様の様子をお伝えできるよう精進してまいります。 G:保護者様からの連絡事項についてはメールでもお受出来ることを案内する。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	95%	0%	0%	5%		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	97%	0%	2%	2%	・先日の次年度のクラスアンケートについてのメールの件があったため。	・
非常時等の対	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	86%	2%	0%	12%	・コロナ対策をきちんと考慮して活動している。	

	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	67%	2%	0%	31%		G:訓練も行っており、今年度はお便り等で訓練の様子を報告した。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	90%	10%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・家ではいきしぶる発言もあるが通所すると楽しく活動できている。 ・お当番が苦手みたいで行きたくないという日もありますが行くと楽しかったと伝えてくれます。 ・楽しそうです。ありがとうございます。 ・いつも嬉しそうに通所し『楽しかった!』と帰ってくる。 	
	23	事業所の支援に満足しているか	97%	3%	0%	0%		今後もより良い療育をスタッフ一同力を合わせ取り組んで参ります。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....
(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。